



Startup Wizard の使用

ASDM Startup Wizard の案内に従って ASA の初期設定を行い、基本設定を定義できます。

この章は、次の項で構成されています。

- 「Startup Wizard へのアクセス」 (P.7-1)
- 「Startup Wizard のライセンス要件」 (P.7-1)
- 「注意事項と制約事項」 (P.7-1)
- 「Startup Wizard の画面」 (P.7-2)
- 「Startup Wizard の機能履歴」 (P.7-7)

Startup Wizard へのアクセス

メイン ASDM アプリケーション ウィンドウでこの機能にアクセスするには、次のいずれかの方法を選択します。

- [Wizards] > [Startup Wizard] を選択する。
- [Configuration] > [Device Setup] > [Startup Wizard] を選択して、[Launch Startup Wizard] をクリックする。

Startup Wizard のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

モデル	ライセンス要件
すべてのモデル	基本ライセンス

注意事項と制約事項

この項では、この機能のガイドラインと制限事項について説明します。

コンテキスト モードのガイドライン

シングル モードと、マルチ コンテキスト モードのコンテキスト内でサポートされています。このウィザードは、該当システムではサポートされていません。

ファイアウォール モードのガイドライン

ルーテッドファイアウォールモードとトランスペアレントファイアウォールモードでサポートされています。

IPv6 のガイドライン

IPv6 をサポートします。

Startup Wizard の画面

画面の実際の順序は、設定時の選択によって決まります。特に明記していない限り、各画面はすべてのモードまたはモデルで使用できます。この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 「Starting Point または Welcome」 (P.7-2)
- 「基本設定」 (P.7-3)
- 「インターフェイスの画面」 (P.7-3)
- 「スタティック ルート」 (P.7-4)
- 「Easy VPN Remote Configuration (ASA 5505、シングルモード、ルーテッドモード)」 (P.7-5)
- 「DHCP Server」 (P.7-5)
- 「Address Translation (NAT/PAT)」 (P.7-5)
- 「管理アクセス」 (P.7-5)
- 「IPS の基本設定」 (P.7-5)
- 「ASA CX の基本設定 (ASA 5585-X)」 (P.7-6)
- 「タイムゾーンおよびクロック コンフィギュレーション」 (P.7-6)
- 「Auto Update Server (シングルモード)」 (P.7-6)
- 「Startup Wizard の概要」 (P.7-6)

Starting Point または Welcome

- 既存の設定を変更するには、[Modify existing configuration] オプション ボタンをクリックします。
- 設定を工場出荷時デフォルト値に戻すには、[Reset configuration to factory defaults] オプション ボタンをクリックします。
 - Management 0/0 (ASA 5510 以降) または VLAN 1 (ASA 5505) インターフェイスの IP アドレスおよびサブネット マスクをデフォルト値 (192.168.1.1) 以外に設定するには、[Configure the IP address of the management interface] チェックボックスをオンにします。



(注) 設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットすると、[Cancel] をクリックしたり、この画面を閉じたりしても、変更を元に戻せません。

マルチ コンテキスト モードでは、この画面にパラメータは含まれていません。

基本設定

- (ASA 5505) リモート ワーカーを対象とした一群の設定値を指定するには、[Configure the device for Teleworker usage] チェックボックスをオンにします。詳細については、「[Easy VPN Remote Configuration \(ASA 5505、シングル モード、ルーテッド モード\)](#)」(P.7-5) を参照してください。
- ホスト名、ドメイン名、およびイネーブルパスワードの詳細については、「[ホスト名、ドメイン名、およびパスワードの設定](#)」(P.16-1) を参照してください。

インターフェイスの画面

インターフェイスの画面は、モードおよびモデルによって異なります。この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 「[Interface Selection \(ASA 5505\)](#)」(P.7-3)
- 「[Switch Port Allocation \(ASA 5505\)](#)」(P.7-3)
- 「[Interface IP Address Configuration \(ASA 5505、ルーテッド モード\)](#)」(P.7-3)
- 「[Interface Configuration - PPPoE \(ASA 5505、ルーテッド モード、シングル モード\)](#)」(P.7-4)
- 「[Outside Interface Configuration - PPPoE \(ASA 5510 以降、ルーテッド モード、シングル モード\)](#)」(P.7-4)
- 「[Management IP Address Configuration \(トランスペアレント モード\)](#)」(P.7-4)
- 「[Other Interfaces Configuration \(ASA 5510 以降\)](#)」(P.7-4)

Interface Selection (ASA 5505)

この画面では、ASA 5505 の 8 つのファスト イーサネット スイッチ ポートを 3 つの VLAN にグループ化できます。これらの VLAN は、別のレイヤ 3 ネットワークとして機能します。グループ化後、**Outside**、**Inside**、または **DMZ** (DMZ はルーテッド モードのみで使用できます) で構成されるインターフェイスごとに、ネットワークを定義する VLAN を 1 つずつ選択または作成できます。DMZ は、ニュートラル ゾーンにある別のネットワークで、プライベート (内部) ネットワークとパブリック (外部) ネットワークの間にあります。

詳細については、「[VLAN インターフェイスの設定](#)」(P.12-6) を参照してください。

Switch Port Allocation (ASA 5505)

この画面では、**Outside**、**Inside**、または **DMZ** インターフェイスにスイッチ ポートを割り当てることができます (DMZ はルーテッド モードのみで使用できます)。デフォルトでは、すべてのスイッチ ポートが VLAN 1 (内部) に割り当てられています。

詳細については、「[VLAN インターフェイスの設定](#)」(P.12-6) を参照してください。

Interface IP Address Configuration (ASA 5505、ルーテッド モード)

各 VLAN インターフェイスの IP アドレスを設定します。詳細については、「[一般的なインターフェイス パラメータの設定](#)」(P.13-7) を参照してください。

Interface Configuration - PPPoE (ASA 5505、ルーテッドモード、シングルモード)

各インターフェイスの PPPoE 設定を行います。詳細については、「[PPPoE IP Address and Route Settings](#)」(P.13-12) を参照してください。

Outside Interface Configuration (ASA 5510 以降、ルーテッドモード)

- Outside インターフェイス (セキュリティ レベルが最も低いインターフェイス) の IP アドレスを設定します。詳細については、「[一般的なインターフェイス パラメータの設定](#)」(P.13-7) を参照してください。
- IPv6 アドレスの設定については、「[IPv6 アドレッシングの設定](#)」(P.13-16) を参照してください。

Outside Interface Configuration - PPPoE (ASA 5510 以降、ルーテッドモード、シングルモード)

Outside インターフェイスの PPPoE 設定を行います。詳細については、「[PPPoE IP Address and Route Settings](#)」(P.13-12) を参照してください。

Management IP Address Configuration (トランスペアレントモード)

IPv4 の場合は、管理トラフィックと、ASA を通過するトラフィックの両方の各ブリッジグループに対し、管理 IP アドレスが必要です。この画面では、BVI 1 の IP アドレスを設定します。

詳細については、「[ブリッジグループの設定](#)」(P.14-8) を参照してください。

Other Interfaces Configuration (ASA 5510 以降)

- その他のインターフェイスのパラメータを設定できます。詳細については、「[一般的なインターフェイス パラメータの設定](#)」(P.13-7) を参照してください。
- [Enable traffic between...] の各チェックボックスの詳細は、「[同じセキュリティ レベルの通信の許可](#)」(P.13-20) を参照してください。

スタティック ルート

スタティック ルートを設定します。詳細については、[第 25 章「スタティック ルートおよびデフォルト ルートの設定」](#) を参照してください。



(注)

ASA 5505 の場合、この画面にアクセスするには、[基本設定](#)の [Configure the device for Teleworker usage] チェックボックスがオンになっている必要があります。

Easy VPN Remote Configuration (ASA 5505、シングルモード、ルーテッドモード)

ASA は Easy VPN リモート デバイスとして動作するため、離れた場所に VPN を展開できます。VPN コンフィギュレーション ガイドの [“Easy VPN Remote” section on page 74-111](#) を参照してください。



(注)

この画面にアクセスするには、[基本設定](#)で [Configure the device for Teleworker usage] チェックボックスをオンにし、[Auto Update Server \(シングルモード\)](#) の [Enable Auto Update] チェックボックスをオフにする必要があります。

DHCP Server

DHCP サーバを設定します。詳細については、[「DHCP サーバの設定」 \(P.18-4\)](#) を参照してください。

Address Translation (NAT/PAT)

外部 (セキュリティ レベルが最も低いインターフェイス) にアクセスするときの内部アドレス (セキュリティ レベルが最も高いインターフェイス) の NAT または PAT を設定します。詳細については、[ファイアウォール コンフィギュレーション ガイドの“Configuring Dynamic NAT or Dynamic PAT Using a PAT Pool” section on page 43-5](#) または [“Configuring Dynamic PAT \(Hide\)” section on page 43-12](#) を参照してください。

管理アクセス

- ASDM、Telnet、または SSH アクセスを設定します。詳細については、[「管理アクセスの設定」 \(P.45-3\)](#) を参照してください。
- ASDM にアクセスするための HTTP サーバへのセキュアな接続をイネーブルにするには、[Enable HTTP server for HTTPS/ASDM access] チェックボックスをオンにします。詳細については、[「管理アクセスの設定」 \(P.45-3\)](#) を参照してください。
- ASDM で統計を収集および表示できるようにするには、[Enable ASDM history metrics] チェックボックスをオンにします。詳細については、[「履歴メトリックのイネーブル化」 \(P.4-35\)](#) を参照してください。

IPS の基本設定

シングル コンテキスト モードでは、ASDM の [Startup Wizard] を使用して、基本的な IPS ネットワーク設定を設定します。これらの設定は、ASA コンフィギュレーションではなく、IPS コンフィギュレーションに保存されます。ファイアウォール コンフィギュレーション ガイドの [“Configuring Basic IPS Module Network Settings” section on page 69-13](#) を参照してください。

ASA CX の基本設定 (ASA 5585-X)

ASDM の [Startup Wizard] を使用して、ASA CX の管理アドレスおよび Auth Proxy Port を設定できます。これらの設定は、ASA コンフィギュレーションではなく ASA CX コンフィギュレーションに保存されます。**注**：ASA CX CLI での追加のネットワーク設定も必要です。この画面については、ファイアウォール コンフィギュレーション ガイドの“(ASA 5585-X) Changing the ASA CX Management IP Address” section on page 70-13 を参照してください。

タイムゾーンおよびクロック コンフィギュレーション

時計のパラメータを設定します。詳細については、「日付と時刻の設定」(P.16-3) を参照してください。

Auto Update Server (シングルモード)

- [Enable Auto Update Server for ASA] チェックボックスをオンにして、Auto Update サーバを設定します。詳細については、「Auto Update の設定」(P.46-31) を参照してください。
- IPS モジュールがある場合は、[Enable Signature and Engine Updates from Cisco.com] チェックボックスをオンにできます。次の追加パラメータを設定します。
 - Cisco.com のユーザ名とパスワードを入力し、確認のためにパスワードを再入力します。
 - 24 時間制を使用して、hh:mm:ss 形式で開始時間を入力します。



(注)

ASA 5505 の場合、この画面にアクセスするには、[基本設定](#)の [Configure the device for Teleworker usage] チェックボックスがオンになっている必要があります。

Startup Wizard の概要

この画面には、ASA に対して行ったすべての設定の概要が表示されます。

- 前の画面での設定を変更するには、[Back] をクリックします。
- 次のいずれかを選択します。
 - Startup Wizard をブラウザから直接起動した場合は、[Finish] をクリックすると、ウィザードで作成されたコンフィギュレーション設定が ASA に自動的に送信され、フラッシュメモリに保存されます。
 - ASDM 内で Startup Wizard を実行した場合は、[File] > [Save] [Running Configuration to Flash] を選択し、その設定を明示的にフラッシュメモリに保存する必要があります。

Sratrtup Wizard の機能履歴

表 7-1 に、各機能変更と、それが実装されたプラットフォーム リリースを示します。ASDM は、複数のプラットフォーム リリースとの下位互換性があるため、サポートが追加された特定の ASDM リリースは一覧には含まれていません。

表 7-1 Sratrtup Wizard の機能履歴

機能名	プラットフォーム リリース	機能情報
Startup Wizard	7.0(1)	この機能が導入されました。 [Wizards] > [Startup Wizard] 画面が導入されました。
IPS の設定	8.4(1)	IPS モジュールでは、[IPS Basic Configuration] 画面が Startup Wizard に追加されました。IPS モジュールに対するシグニチャ アップデートが、[Auto Update] 画面に追加されました。ASA でクロックが設定されるように、[Time Zone and Clock Configuration] 画面が追加されました。IPS モジュールはそのクロックを ASA から取得します。 次の画面が導入または変更されました。 [Wizards] > [Startup Wizard] > [IPS Basic Configuration] [Wizards] > [Startup Wizard] > [Auto Update] [Wizards] > [Startup Wizard] > [Time Zone and Clock Configuration]

